

この紙面とほぼ同じ体裁になるよう、課題用ファイルを加工しなさい。ただし、枠で囲まれたテキストボックスは無視してよい。

専攻名 学籍番号 名前

Word では画像、図形、テキストボックスなどの扱い方は共通です。ここではまとめて「図オブジェクト」と呼びます。2通りの扱い方があります。

1つ目は「1個の巨大な文字」として扱う方法です。図オブジェクトをクリックし、「図ツール：書式」→「配置：文字列の折り返し」を「行内」に設定します。



貼り付けた後、「右クリック」→  
「レイアウトの詳細設定」→  
「サイズ」で 85%に縮小

上の画像は「大学のトップページ」→「大学の紹介」→「シンボルマーク」にあります。IEで「画像を右クリック」→「コピー」し、Wordで「ホーム」→「貼り付け」とし、「行内」に設定し、配置を「中央揃え」にしています。

この段落に含まれている ☺ や ➡ は「挿入」→「図：図形」で作成し、「行内」に設定し、縮小し、「切り取り」→「貼り付け」で目的的位置に入れました。矢印は1つ作成し「コピー」→「貼り付け」で増やしました。図形の上下位置を整えるため、「ホーム」➡「段落」➡「体裁」で文字の配置を「中央揃え」にし、「段落」→「インデントと行間隔」で行間を「固定値 19pt」に設定しています。図形の微調整は「表示」→「ズーム：ズーム」で拡大率を上げると、作業しやすいでしょう。Shift を押しながら拡大・縮小すると図形の縦横の比率を保持します。

2つ目は図オブジェクトを「自由に配置できる図」として扱う方法です。「配置：文字列の折り返し」を「四角」とすると図の周りを文字が回り込みます。「そったくん」は「大学の紹介」→「マスコットキャラクター」にあります。「四角」に設定しています。

「前面」あるいは「背面」とすると文字と図形が重なります。

1. 選択肢の 2. に丸が付いています。

2. 「挿入」→「図：図形」で円／楕円を選択します。

3. 円をクリックし、「描画ツール：書式」→「配置：文字列の折り返し」で「前面」を選択します。

4. 「描画ツール：書式」→「図形のスタイル：図形の塗りつぶし」で「塗りつぶしなし」を選択します。



そったくん

貼り付けた後、「右クリック」→  
「レイアウトの詳細設定」→  
「サイズ」で 40%に縮小